



がんの標準治療

磐田市立総合病院

副病院長兼病理診断科部長

谷岡書彦

ドクター + 教えて

がんの「標準治療」は、科学的根拠に基づいた現在国内で利用できる最適・最良の治療である状態の一般的な患者さんに行われることが推奨される治療です。「ある状態」とは、病状がどれだけ進んでいるか、いわゆる進行度にあたります。

病理医は手術標本や生検組織で、がんの種類を調べ、その進み具合を調査決定します。がんが転移した場合はCTやMRIの画像検査に加えて、針で組織を取って調べることもあります。

早期の場合は手術のみで、治癒が期待できます。がんが広がり、あるいは転移している場合には、抗がん剤で治す化学療法や放射線を当てる治療を組み合わせて標準治療が組み立てられています。今後、免疫を強くする薬も標準治療に組み合わされていくでしょう。

標準治療は基礎研究の後、毒でないことを調べる第1相試験、短期的治療効果を調べる第2相試験、長期的な治療効果を評価する第3相試験を行い、有効かどうか確認しています。

「標準治療を受けるのは嫌です。最先端の治療はないでしょうか？」患者さんからよくされる質問です。どうか誤解なさらないでください。医療において「最先端の治療」が最も優れているとは限りません。

最先端の治療は、開発中の試験的な治療であり、それまでの標準治療より優れていることは証明されていないのです。そこどころか最先端のふりをして無効な治療法もあります。

ネットの情報をうのみにせず、最適・最良の治療を受けられるよう主治医の先生にご相談ください。

運転免許証の返納で

「お助け号」が半額に！

①地域づくり応援課
☎0538-374751
FAX 0538-3212353

高齢（特に75歳以上）のドライバーによる事故は年々増加傾向にあります。平成28年の統計数値では10年前に比べ約1.5倍に増加しています。交通事故を起こさないために、体調不良時・天候不良時・通学時間帯などは運転を自粛することも必要です。

また、年齢と共に身体能力や視力は低下していきます。家族や周りの方とも話し合い、運転免許証の自主返納も検討しましょう。



自主的に運転免許証を返納し、運転経歴証明書の交付（交付手数料1000円）を受けた65歳以上の方は、運転経歴書を提示することで、デマンド型乗合タクシー「お助け号」の利用料金が半額になります。

「お助け号」は、市内を8つの地区に分けて自宅と指定施設（目的地）の間を運行しています。利用の際は事前の登録・電話予約が必要です。

地区ごとに指定施設や運行時刻などが異なりますので、詳しくは地域づくり応援課までお問い合わせください。

▼この標識が目印



お助け号乗合所に「お助け号」マークの車両がお迎えます



くらしの + 情報